

## 2023年3月期決算説明会(2023年5月12日(金)開催)における質疑応答

No.	質 問	回 答
1	2023年度の受注に関して、現在は手持ち工事がすでに多数ある状況で、それを調整しながら進めるということか。また、実際の手持ち工事量を消化するにあたり、どのような具体策を考えているのか。	2023年度の受注目標は、手持ち工事量とのバランスを考慮した計画としている。施工体制のバランスを注視しながら進め、以降は最終年度の完工目標を見据えた計画としていく。手持ち工事量の消化については技術員、技能者が確保されており進捗に問題はない。
2	人的資本に関して、人的資本への投資を拡大しているが、具体的な投資内容は何か。また、ダイバーシティ経営の推進に対してのKPIはあるか。	人的資本投資の拡大内容は、賃金の上昇、人員増強、事業戦略に沿ったリスクリングによる人材育成等である。ダイバーシティ経営推進においては、女性管理職比率・障がい者雇用比率目標を2022年度よりも高い数値の計画としている。
3	2023年3月期の分野別受注によると、新築が減ってリニューアルが増えている。今後の市場をどう見ているか。	今後も同じような新築・リニューアルの比率で推移すると見ている。都心では再開発案件が増加し、新築比率が増加する可能性もある。
4	No.3の回答では新築比率が増加することだが、案件としては、今後リニューアルは維持、新築が増えるということか。	リニューアルは一定の水準を保ちながら、新築の絶対値が上がるのではないかと考える。
5	SNK Vision 2030 Phase IIに関して、一番思いを込めているところはどこか。	社会と企業の持続性の両立を、社会との対話を通じて実現していくことに注力していきたい。
6	No.5の回答で社会との対話とありましたが、具体的な施策はあるか。	お客様・従業員・取引先など、ステークホルダーとの対話を増やすことである。
7	2024年4月から時間外労働の上限規制があるが、現状を教えてください。	現場負荷軽減策として、現場でなければできないコア業務と、現場ではなくてもできるノンコア業務の仕分けをしている。さらにノンコア業務は本社やアウトソーシングで対応するよう取り組んでいる。
8	No.7の回答について、達成度合いはどのくらいか。	現時点で達成には至らないが、徐々に残業時間は減っている。現在の施策にて進捗を確認しつつやり遂げる。